

令和3年度第1回 函館市東部地域まちづくり懇談会 会議録

開催日時	令和3年7月7日 水曜日 14時00分～15時45分		
開催場所	函館市戸井西部総合センター 集会ホール		
内 容	<p>1 開 会</p> <p>2 座長挨拶</p> <p>3 講 演 『函館市東部の縄文』 (一般財団法人道南歴史文化振興財団 学芸主任 平野 千枝氏)</p> <p>4 出席者紹介</p> <p>5 議 題 (1) 分科会報告 ①「函館イーストエリアガイド」の修正について ②「函館イーストエリアガイド」の配布について ③その他の施設のご紹介(ホームページによる公開)について ④今後の取り組み(案)について (2) 協 議</p> <p>6 そ の 他</p> <p>7 閉 会</p>		
出席者	別紙「出席者一覧」のとおり(出席17名, 欠席3名)		
報道関係	北海道新聞社		
事務局 出席者 職氏名	戸井支所地域振興課長 井上 徹也 戸井支所産業建設課長 畑野 富和 恵山支所地域振興課長 桐澤 武磨 恵山支所産業建設課長 町谷 篤志 榎法華支所地域振興課長 岩井 丈 榎法華支所産業建設課長 大安 淳一 南茅部支所地域振興課長 村田 剛 南茅部支所産業建設課長 西村 雅人 企画部計画調整課長 高橋 紀子	戸井支所地域振興課主査 戸井支所地域振興課主査 戸井支所地域振興課主任主事 恵山支所地域振興課主査 恵山支所地域振興課主任主事 恵山支所産業建設課主査 榎法華支所地域振興課主事 榎法華支所産業建設課主査 南茅部支所地域振興課主査 南茅部支所産業建設課主査 南茅部支所地域振興課主事 企画部計画調整課主査	泊澤 宏一 土屋 英司 長井 駿 奥野 秀光 平 浩之 松本 光隆 藤枝 直哉 山岸 文生 大住 洋之 吉田 知貴 佐々木健人 鹿内 陽
1 開 会 (14時00分)			
井上課長	<p>ただいまから, 令和3年度第1回東部地域まちづくり懇談会を始めさせていただきます。</p> <p>本日は, お忙しい中, ご出席をいただきありがとうございます。</p> <p>私は, 本日の司会を務めさせていただきます, 戸井支所地域振興課長の井上と申します。</p> <p>どうぞよろしく願いいたします。</p> <p>懇談会開催要項6(1)により, 開催担当支所は, 1年ごとに持ち回ることとなっております, 本年度につきましては, 戸井支所が開催を担当させていただきます, 戸井支所長が座長を務めさせていただきます。</p>		

	<p>また、開催要項6（3）に基づき、本日の懇談会は、公開とさせていただきます。</p>
<p>2 座長挨拶</p>	
井上課長	<p>それでは、今年度、座長を務めさせていただきます、戸井支所長 西川よりご挨拶を申し上げます。</p>
西川支所長	<p>戸井支所長の西川でございます。</p> <p>令和3年度第1回東部地域まちづくり懇談会の開会にあたり、ご挨拶申し上げます。</p> <p>本日は、ご多忙中のところ、戸井西部総合センターにお越しいただき、誠にありがとうございます。</p> <p>また、日頃より、まちづくり、市政運営にご協力をいただいておりますことに、改めてお礼申し上げます。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、残念ながら、今年も「南かやべひろめ舟祭り」の中止や「恵山つつじ祭り」の縮小など、様々な場面で自粛が求められる状況が続いておりますが、徐々にワクチン接種も進んできておりますので、今後の観光需要の回復に期待をしているところでございます。</p> <p>さて、本懇談会は2年目となりますが、引き続き、観光振興をテーマとして、東部地域の魅力を発信し、観光客の誘致に繋げていけるよう議論を深めていきたいと考えております。</p> <p>このような中、大船遺跡と垣ノ島遺跡を含む「北海道・北東北の縄文遺跡群」が、世界文化遺産の登録に向けて大きく前進しておりまして、今月7月24日土曜日から28日水曜日までの間に、ユネスコ世界遺産委員会による縄文遺跡群の審査が行われ、いよいよ決定が目前であります。</p> <p>登録決定日の翌日10時30分からは、垣ノ島遺跡のオープンと合わせ、セレモニーも開催される予定となっております。</p> <p>本日は、このあと、一般財団法人 道南歴史文化振興財団の学芸主任であります、平野千枝さんに大変お忙しいなか、お願いし、ご講演をいただくこととなっております。</p> <p>皆様と縄文遺跡、縄文文化の魅力について再認識、再発見できるものと楽しみにしております。</p> <p>終わりになりますが、本日の懇談会が東部地域の振興に資するものとなることを祈念し、ご挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。</p>
<p>3 講演</p>	
井上課長	<p>それでは、早速ですが、東部地域の主たる観光資源の一つである縄文について、一般財団法人道南歴史文化振興財団の学芸主任平野千枝さんから「函館市東部の縄文」と題し、ご講演をいただきます。</p> <p>平野さんは、大学をご卒業後、南茅部の発掘作業に従事され、2011年からは、縄文文化交流センターにおいて、学芸員として、調査・研究を継続されており、このたびの世界文化遺産登録に向けて、ご尽力されております。</p> <p>本日は、ご多忙中のなか、本懇談会にお越しいただきました。</p> <p>ご講演の後、質問もお受けいただきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、平野さん、よろしくお願いいたします。</p>

平野氏	(講演「函館市東部の縄文」) 《スライドを使用して、「縄文文化の年代や特徴」「北海道・北東北の縄文遺跡群の構成資産」「戸井・恵山・楳法華・南茅部地区の縄文遺跡の特徴」「観光資源としての縄文」について説明》
井上課長	平野さん、ありがとうございます。 以上でご講演を終了いたしたいと思いますが、改めて、平野さんに拍手をお願いいたします。ありがとうございます。 ここで、机の配置換えと換気のため、10分ほど休憩といたします。 お荷物をお持ちになって、ロビーでしばらくお待ち願います。 なお、ロビー奥には、ただいまご紹介いただきました、角偶や舟形土製品のレプリカのほか、戸井の歴史に関する資料を展示しておりますので、どうぞご覧ください。
4 出席者紹介	
西川支所長	それでは、懇談会の方を再開させていただきます。 ここで、本日の出席者を報告いたします。
井上課長	私の方で、お名前をお呼びしますので、恐れ入りますが、その場でご起立をお願いいたします。 <ul style="list-style-type: none"> ・戸井地区町会連合会 松田会長です。 ・戸井漁業協同組合 川原専務理事です。 ・函館東商工会 関谷筆頭理事です。 ・函館市第26方面民生児童委員協議会 植野会長です。 ・恵山地区町会連合会 長田会長です。 ・函館東商工会 横手副会長です。 ・函館市恵山支所 瀬戸支所長です。 ・函館市第27方面民生児童委員協議会 蔦会長です。 ・楳法華地区町会連合会 川口会長です。 ・函館東商工会 五ノ井商業部会長です。 ・函館市楳法華支所 三原支所長です。 ・函館市第28方面民生児童委員協議会 新谷会長です。 ・南かやべ漁業協同組合 中村専務理事です。 ・函館東商工会 佐藤副会長です。 ・函館市南茅部支所 本吉支所長です。 ・函館市第29方面民生児童委員協議会 佐々木会長です。 以上、17名の方々にご出席いただいております。
5 議題	
西川支所長	それでは、議題に入らせていただきます。 次第の順に従って進めてまいります。 まず始めに、分科会の方から令和3年度の活動内容について、報告を受けます。 一連の報告を受けた後、項目ごとに協議することとします。 では、報告をお願いいたします。
町谷課長	恵山支所産業建設課長の町谷と申します。 どうぞよろしくをお願いいたします。

観光振興分科会につきましては、昨年度に引き続きまして、恵山支所の方で取りまとめておりますので、私の方から活動報告をさせていただきます。お手元の資料1をご覧ください。

前回、令和3年3月24日に開催された、まちづくり懇談会において、分科会から「函館イーストエリアガイド」の案をお示ししたところ、委員の皆様から様々なご意見があり、修正等の対応については、分科会において協議・検討することとされました。

これを受けて、観光振興分科会では、4月から6月までの間に、分科会を3回開催し、資料1の2番目「会議における協議の概要」に記載しておりますとおり、大きく分けて次の2点について協議・検討を進めてまいりました。

1点目は、前回の懇談会における各委員からのご意見を踏まえた、「函館イーストエリアガイド」の取り扱いについてです。

検討結果の詳細につきましては、後ほど資料2から資料6をご覧くださいながら、詳しく説明をさせていただきますが、分科会では、「函館イーストエリアガイド」(案)について、各委員から伺ったご意見を踏まえ、修正案の作成作業を進めるとともに、「配布の狙い」や「配布先」などについても、改めて整理をいたしました。

また、2点目として、分科会の「今後の取り組み」について協議を行い、観光振興に資する取り組みは多岐にわたる中で、どのような取り組みを進めていくべきか、この間の取り組みの経過等も踏まえながら、資料7のとおり、今後の取り組み(案)を取りまとめたところでございます。

以上が分科会の活動の概要となりますが、続きまして、具体的な分科会における検討結果の中身について、ご説明をさせていただきます。

始めに、1点目の「マップの修正案の作成等」について、説明をさせていただきます。

資料2は、左側の欄に各委員からのご意見を、右側の欄にご意見に対する分科会の検討結果をまとめておりまして、資料3は、それらの検討結果を反映した「函館イーストエリアガイド」の修正案となっております。

まず、資料2の左側の欄、一番上になりますが、「マップが見づらい、字が小さい」というご指摘がございました。

本件について修正案では、マップを表・裏で2分割して約2倍の大きさとしたほか、全体のレイアウトを見直し、飲食店の紹介文など文字が小さかった問題を解消いたしました。

また、次のご意見になりますが、「アーチ橋など掲載施設の追加」に関するご意見や、逆に「掲載する施設を絞ってはどうか」というご意見がございました。

本件について、修正案では、マップに掲載する施設を見直すとともに、紙面の都合により掲載できなかった施設につきましては、ホームページによりご紹介することといたしました。

具体的には資料3の修正後のマップを見ていただきたいのですが、表面・裏面ともに中央付近の左側に黄色い枠で「函館イーストエリアは、まだまだ魅力がいっぱい」と記載してある部分があるかと思えます。

こちらの下の方にありますQRコードを読み取っていただきますと、ホームページで各施設の詳しい情報を確認することができるようにしております。なお、お手元の資料では、資料6にこのQRコードのリンク先である、ホームページの画面、その後に各施設を紹介するページを添付してございま

す。

次に、「南茅部の飲食店をどのように紹介するべきか検討してほしい」というご意見につきまして、修正案では飲食店をはじめ、各施設の写真や紹介文を実際の地図上の位置に合わせるような形でレイアウトを変更しております。さらに南茅部地区の飲食店につきましては、マップの表面右上の部分になりますが、南茅部エリア「グルメガイド」というQRコードを追加することで、必要に応じてこちらもホームページから詳細な情報を得られるよう工夫しております。

次に、「マップの中心地点や施設間の距離を載せてはどうか」というご意見ですが、本件につきましては、今回改めて分科会で整理しました。

「マップの配布の狙い」に基づいて修正している部分となっておりますので、ここで先に今回の「函館イーストエリアガイド」配布の狙いをご説明させていただきます。

資料4をご覧ください。

先ほどからご案内のとおり、今月下旬には、いよいよ縄文遺跡群の世界遺産登録が正式に決定される見込みとなっており、函館市教育委員会の試算によりますと、今年度は例年の3倍、30万人余りの方が南茅部地域を訪れることが見込まれております。

昨年以降、新型コロナウイルス感染症の影響により観光需要が大きく減少する中、多くの方が、南茅部地域を訪れるという好機が到来すると考えられます。これらの南茅部地域を訪れる方をターゲットとしまして、「函館イーストエリアガイド」を配布することで、東部地域の魅力を多くの方に知っていただき、南茅部地域から榎法華、恵山、戸井地区へと、他の東部地域へと誘客することを今回の「函館イーストエリアガイド」配布の狙いとしております。

そこで、資料3の修正後のマップに戻りまして、南茅部エリアの面の方をご覧くださいなのですが、このような狙いの中で、「マップの中心地点や施設からの距離を載せてはどうか」というご意見につきまして、修正案では、地図の中心地点を道の駅「縄文ロマン南かやべ」の縄文文化交流センターとし、施設間の距離につきましては、「スタート地点」とした南茅部の縄文文化交流センターから各施設まで、車で移動するために要する時間を緑色の網掛けで「車のマーク」と「何分」という形で記載することにより表現することといたします。

次に、「具体的にどのように観光客にPRしていくか見えてこない」というご意見につきまして、分科会は、先ほどご説明申し上げた配布の狙いのほか、想定する配布先案について協議検討を行いました。

資料5をご覧ください。

配布先案といたしましては、南茅部から他の東部地域へ誘客するという今回の狙いに基づきまして、起点となる南茅部地域のスタートとしている縄文文化交流センターに重点を置いておりますが、こちらに多く配布するとともに、戸井、恵山、榎法華地域においては、各地域の拠点施設に配布したいと考えております。

また、修正案の作成に当たりましては、市観光部とも連携をしておりますので、観光部にも500部を配布したいと考えております。

なお、下の※印で記載させていただいておりますが、この配布先案では、印刷完了時点での当初想定をもとに記載をしておりますので、実際に配布が始

まりますと、それぞれの配布場所において過不足が生じてくるものと予想しておりますし、また、飲食店などを資料に記載している配布場所以外の場所で配布することで、より一層効果的なPRが可能となる場合もあると思っておりますので、その辺は柔軟に対応するとともに、総数の5千部では足りない状況となった場合には、増刷をして対応していきたいと考えております。

以上が大きな1点目、マップの修正案の作成等についての説明となります。

この後、ただいま説明申し上げた「函館イーストエリアガイド」の修正案につきまして、委員の皆様にご協議いただくこととなりますが、今回の配布の狙いに基づき、本日会議終了後、速やかに印刷発注をしまして、縄文遺跡群の世界遺産登録の決定に合わせて配布をしたいと考えているところでございます。

なお、マップの南茅部エリアの左上になるのですが、こちらの部分には、今回の狙いに基づきまして、地元南茅部や市教育委員会とも連携しながら、新しく作成されました縄文遺跡群世界遺産登録のロゴマークを入れたいと考えております。

最後に大きな2点目の今後の取り組み案について、ご説明申し上げます。資料7をご覧ください。

前回の懇談会において、委員から、「ただパンフレットを渡すだけではなく紹介できる人を置いてはどうか」というご意見がございました。

本件について、分科会では想定する配布場所の職員、スタッフ等を対象とした講習会の受講など、今回の「函館イーストエリアガイド」配布によるPR効果を一層高めるために、地域において一定程度のご案内が可能となるよう、今後どのような取り組みが可能か検討を進めたいと考えております。

また、東部地域における今後の観光振興全般に関しまして、分科会ではコロナ禍にある現在の期間を将来の発展のための助走期間と捉え、これまでの取り組みに関する検証を行うとともに、今後の観光振興に向けて関係機関、関係団体との連携、地域住民との協働などについて、調査研究を進めてまいりたいと考えているところでございます。

以上で観光振興分科会の活動報告を終わります。

西川支所長

ありがとうございます。それでは、早速協議に入ります。

まず、お手元の資料2、資料3に戻っていただき、「函館イーストエリアガイド」の修正案について、ご意見やご質問等ございますでしょうか。ご確認等でも構いません。

せっかくの場面ですので、私の方から振らせていただきたいのですが、戸井の民生児童委員協議会 植野会長様、何かご意見等ございますか。

戸) 植野氏

今回のマップを見ましたら、前回よりすごく見やすくて、いいなと思っております。

西川支所長

ありがとうございます。

今、報告をした町谷課長への激励の言葉でした。ありがとうございます。どのようなことでも構いません。何かご意見、ご質問等ございませんか。恵山の東商工会 横手副会長様、何かご意見ございますでしょうか。

恵) 横手氏	<p>修正案を見て、本当にすっきりして良い内容だと思いました。 ただ、戸井のウォーターパークですが、一回通ったことがあるのですが、キャンプができるように整備されているのですか。</p>
西川支所長	<p>戸井ウォーターパークはオートキャンプ場になっておりまして、今もキャンプ場に人がいますし、隣のふれあい湯遊館という温泉施設もございまして、今のアウトドアブームもあって、ゴールデンウィークには、多くのキャンパーなどに訪れていただいております。</p>
恵) 横手氏	<p>わかりました。ありがとうございます。</p>
西川支所長	<p>続きまして、榎法華の東商工会 五ノ井商業部会長様、何かございますか。</p>
榎) 五ノ井氏	<p>前のマップより、すごく見やすくなっていて大変良いと思います。 また、飲食店の方も見やすく良いのではないのでしょうか。</p>
西川支所長	<p>ありがとうございます。 お褒めの言葉ばかりいただいて大変嬉しく思っております。 他に何か特別言っておきたいことや、確認したいことはございませんか。 前回よりも格段に良くなっているという言葉をいただきまして、この場で「函館イーストエリアガイド」の修正案を最終案として、決定ということで、よろしいでしょうか。</p> <p>(はいの声)</p> <p>ありがとうございます。 続きまして、資料4、資料5をご覧いただきたいと思います。 「函館イーストエリアガイド」の配布の狙いと配付先の案が示されました。 これらにつきまして、何かご確認、ご質問等ありましたら承りたいと思います。 南かやべ漁業協同組合 中村専務理事様、何かご意見ございますでしょうか。</p>
南) 中村氏	<p>今まで、仕事の関係で参加できず、今回初めて参加しましたが、前回、各委員さんがご協議されて、今回このような資料を作成していただき、南茅部地域について、大々的にPRしていただいて、まずはお礼を申し上げたいと思います。 配布先の関係ですけれども、候補について、南茅部支所、そしてメインとなる縄文文化交流センター、宿泊施設のひろめ荘の3点を押さえているので、よろしいかと思えます。 今後、漁協の方でも何か依頼があれば協力していきたいと思えます。</p>
西川支所長	<p>ありがとうございます。 先ほど、町谷課長の方から報告しましたとおり、他のここに載っていない施設の方にも是非置きたいというお話があれば、まずは、各支所エリア内で融通し、柔軟に対応していきたいと考えておりますので、その際には、各支</p>

	<p>所にお声を掛けていただければと思います。</p> <p>この資料4、資料5につきまして、南茅部の東商工会 佐藤副会長様、ご意見やご質問はありませんでしょうか。</p>
南) 佐藤氏	<p>配布した部数がもし足りなくなったら、予備を活用するということがありますが、どこが窓口となって、配布するのでしょうか。</p>
西川支所長	<p>それは、支所の方に伝えていただければ、支所内で在庫を確認して、それでも足りない場合は、支所間でも融通して柔軟に対応していきたいと思います。</p> <p>それが全部無くなった段階では、印刷には予算の確保が必要だと思いますので、予算の確保を検討していきたいと思います。</p>
南) 佐藤氏	<p>今は、コロナの関係でイベント等を自粛している状況にありますが、今後、イベントを行う時に欲しいと言った場合にももらえますか。</p>
西川支所長	<p>イベント時に配布するというイメージまでは無かったですが、そのようなお声をいただいた場合には、前向きに検討して行きたいと思いますので、支所の方にお話しいただきたいと思います。</p> <p>それでは、「函館イーストエリアガイド」の配布の狙いと配布先について、このような形で決定をさせていただくということでもよろしいでしょうか。</p>
榎) 川口氏	<p>十字街に地域交流まちづくりセンターがありますが、そこには、ほとんどの観光パンフレットが置いてあります。</p> <p>観光客も結構来るので、そこに置いてはどうですか。</p>
西川支所長	<p>本庁の観光部にも500部を置くこととしていますが、観光部の采配によってニーズがあれば、函館駅前ですとか、まちづくりセンター、空港などに配置することになると思いますので、その辺りは、観光部の方に委ねたいと思います。</p> <p>今の川口会長さんからの話は、観光部にお伝えして、または、直接まちづくりセンターにお話をし、置いていただけるよう検討してまいりたいと思います。</p>
榎) 川口氏	<p>あとは、本州方面のお客さんを呼ぶために、有楽町にある北海道の物産館に置くと、あちらからのお客さんが来やすくなると思います。</p>
西川支所長	<p>非常に潤沢な予算があれば、いろいろなことを実施したいとは思いますが、まずは、今月下旬の世界遺産の登録が決定されて、南茅部にお客様が殺到し、そこで、どこにご飯を食べに行ったら良いかというときにタイミングよく、まず南茅部に来られたお客様に配布し、そして、東部地区の各支所管内を回っていただくことを狙いとしたガイドとなっていますので、そこまで一足飛びにはいかず、まずは、こういう形で進めさせていただき、将来的には、そういうこともできたら素晴らしいと思います。まさに世界遺産ですから、全世界のお客様がターゲットになります。</p> <p>貴重なご意見ありがとうございます。</p>

それでは、資料4、資料5の「函館イーストエリアガイド」の「配布の狙い」や「配布先」についても、ご承認いただいたということで、よろしいでございませうか。

(はいの声)

ありがとうございます。

続きまして、その他の施設のご紹介ということで、資料6でございませうが、「函館イーストエリアガイド」に載せ切れなかつた観光資源が、まだまだ数多くあるため、QRコードからホームページに飛んで、詳細な中身を紹介する流れでございませうけれども、これについては、何かご意見ございませうか。

南茅部の民生児童委員協議会 佐々木会長様、何かご意見ございませうでしょうか。

南)佐々木氏

南茅部では3つ載せてありますけれども、小学生の子ども達から聞いたのですが、海岸にゴリラ岩と言われる岩があります。見ると確かにゴリラに見えるのです。海の方を眺めて背中に哀愁があるような感じの大きな岩なのですが、それが小学校の教科書にも載っていると子ども達から聞いて、初めて知ったのですが、このようなものも載せてもらえたらいいなと思っております。

いつも頭の上にカモメが止まっていたりするのですが、この岩を見たいと言われ、地元の子を私が連れて行ったことがあるのですが、それも面白いと思ひます。

きっと戸井や恵山の方にもあるかなと思ひます。南茅部地区から戸井へ行って函館へ向かう間にすごく味のある景色が見られるので、そういうものもちょっと見つけてもらおうと面白いかなと思ひます。

西川支所長

ありがとうございます。

この資料6に載っている観光資源については、現時点の例に過ぎませうので、各地区にお住まいの方が気づかれて、すごく面白いんじゃないか、載せた方が良くないかというものは、やはり先ほどの配布場所の件と同様に、各支所の方にこういうものを載せた方が良くないかと言ひいただきませうと、準備をしまして、ホームページの方に登載をしていくような流れになつていけばいいのかなと思ひます。

南)佐々木氏

これから、世界遺産登録になつたときのイメージの中で、南茅部地区でも関わっているところは、関心があつて誰かに伝えることができるけれど、普通の住民の方々は、なかなかそれができないでいるというのが現実で、今、世界遺産登録に向かつて学校関係、例えば、南茅部高校さんも縄文クラブを作つたりして、出向いてお手伝いをしたり、催し物に参加をするなど、とても良い動きが出てきています。

それから、小学校でも、函館市内からもバスで縄文センターに見学に来たりと、何かすごい大きな渦がここにきて起きているというのがわかります。

今日も皆と一緒に講演を聞きながら勉強したわけですが、なかなか関心を持たない人もいますので、少しでも関心を持つような工夫を早急に皆で考へて、そういう場をつくり、それに皆が参加するように投げかけて

<p>西川支所長</p>	<p>いくということを実行していかなければ、突然、誰かが遠くから来た時に聞かれても、よく分からないじゃ、ちょっと残念だなと思います。その辺りのことをもう少し深く皆でやっていかなければいけないと感じています。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>関心のない方に関心を持ってもらうというのは、すごく難しいことではありますけれども、今回の世界遺産登録決定の前後に様々な取り組みで気運を盛り上げ、地域に住んでいる方皆が説明員になれるという部分は本当に理想だとは思いますが、いろいろ工夫しながら、時間もかかると思いますが、我々行政も含め、そして、町会関係者の方、民生関係者の方など、それぞれの団体様の中でも縄文を盛り上げるための工夫という部分をそれぞれの立場で検討していただければと思います。</p> <p>なかなか行政だけが旗を振っても、後を見たら誰も着いてきていないということもありますので、各団体様も世界遺産決定を我がことと改めて考えていただいて、我々もいろいろな事業をいろいろな場面でやっていきますけれども、皆様方のお力もお借りしながら、進めていかないと難しいと思っています。</p> <p>貴重なご意見ありがとうございます。</p>
<p>楳) 川口氏</p>	<p>今、佐々木さんがおっしゃっていただきましたが、以前から気にしていたことは、まだまだ地域住民があまり縄文について知らないということです。</p> <p>南茅部の人に聞いても、縄文センターに一回も行ったことが無いという人も結構います。せめて誰かに聞かれた時に、「車で何分だよ。」くらいは言えるようにしたいものです。</p> <p>小学校3年生は去年あたり見学に連れて行っているのですがけれども、市の地域福祉バスを利用して、なるべく多くの人に見てもらわないと駄目だと思います。</p> <p>基礎から始めないと駄目だなということを佐々木さんの意見で思い出しました。</p>
<p>西川支所長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>その他の施設のホームページ上でのご紹介についての取り扱いについては、このような形になりますけれども、順次、載せてほしい観光資源がございましたら、各支所の方にお伝えいただいて、掲載の数を増やしていくという運用をしていきたいと思っています。よろしいでしょうか。</p> <p>(はいの声)</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>それでは、この案で了承いただきましたので、早速、印刷および配布の方を進めていきたいと考えております。</p> <p>配布の日は、先ほど分科会リーダーの方からお話がありましたが、世界遺産登録決定に何とか間に合えばいいですけれども、そこを目指しながら、準備を進めていきたいと思っています。</p> <p>配布するものが出来上がりましたら、皆様方には支所の方からご連絡をさせていただきます。</p>

<p>恵) 蔦氏</p>	<p>このように決定をさせていただきます。</p> <p>続きまして、資料7の今後の取り組み案について、説明がありましたが、こちらの方は、PR効果増大の取り組みと今後の観光振興に向けた調査研究について報告がありましたけれども、これに関しまして、何かご意見などございませんでしょうか。</p> <p>それでは、恵山の民生児童委員協議会 蔦会長様、何かご意見などございませんでしょうか。</p> <p>私は、この度初めてこの会議に参加させていただきました。</p> <p>前回の資料も見せていただきましたが、これまでに比べて簡素化して見やすいと思います。それで今後のPRの関係ですけれども、例えば、戸井のアーチ橋はここですよ、というような感じで路線バスの中で、ちょっとでも案内してもらえればと思います。これから、世界遺産登録になった場合、路線バスで観光に来る方もいらっしゃると思いますが、次のバス停留所のアナウンスやその途中にでも、「ここがアーチ橋です」と案内してもらえれば、全然分からないで来た人にも分かるかなと思います。</p> <p>それと、これから皆さん、知り合いの方にいろいろ物を送ると思いますが、そういう時に、このようなパンフレットも入れてあげると、自分の故郷には、こういうところがあると、友人に教えていただくきっかけになるなど、PRになるのではないかと思い、本当に小さな望みですけれども、そういうこともあったら何か良いかなと思います。</p>
<p>西川支所長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>今、蔦委員からのお話は、ここの観光振興に向けた調査・研究させていただければと思います。</p> <p>1点目の路線バスでのアナウンスですが、函館バスさんの中で次のバス停に行く手前でご紹介みたいなことをできればというご意見かなと思います。</p> <p>これにつきましては、旧市域も例えば五稜郭の奉行所が近くにありますがよという放送はかけてはいないのですが、そういうものができるかどうかも含めて研究していきたいと思います。</p> <p>ここにゆかりがあって、全国に散らばられた方々へのお歳暮ですとか、荷物を送る際に「函館イーストエリアガイド」などを同封するかというのは、全然それはやぶさかでは無いです。</p> <p>本当に東部地区のPRマンになっていただいている形になっていると思いますので、その際には何部くらいかは増刷しなければならないという部分を含めまして、今後の調査研究にさせていただきたいと思います。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>あと、今後の取り組み案について、ご意見等ございますか。</p> <p>恵山地区町会連合会 長田会長様いかがでしょうか。</p>
<p>恵) 長田氏</p>	<p>以前に見た案より素晴らしいと思います。</p> <p>観光案内については、誰が案内できるのかということになりますが、例えば戸井の武井の島について質問を受けた場合にどのように人に答えるのかと考えると、そのガイドをするのも私は忍びない。もし案内とするならば、どのように説明するのか。支所や施設の職員でも大変なことだと思うし、他の地区のガイドをするのは大変なことだと思います。</p>

<p>西川支所長</p>	<p>エリアガイドの内容をある程度は説明してもらおう必要があると思うが、そのことはどのように考えていますか。</p> <p>まさに今後の観光振興に関わる将来的な観光ガイドの養成に向けた調査研究に繋がって来るかと思えます。</p> <p>旧市域の観光の話を何度かさせてもらっていますけれども、旧市域でも、民間の有志様が、それぞれ団体を立ち上げてまして、観光ガイドという活動をされています。電話で予約を受けて、1時間コースや30分コースなどという形で普通のサラリーマンの方ですとか、主婦の方が、実際にそういう活動をされている団体もあります。将来的には、そのような団体が東部地区の中から育ってくるような形になれば、理想的だとは思いますが、当面の部分としては、今、長田会長さんが言われているように設置する場所にいる職員が、少なからずでも説明できるような形の講習会が良いのか、また、このガイドマップにあるQRコードを読み込んでいただければ、詳細な間違いのない情報をホームページで確認ができますので、こちらを見ていただくのがよいのかだと思います。また、飲食店については、連絡先も掲載して、直接電話で確認できるようにはしていますが、やはり、人と人とのふれあいによる説明というのは大事だと思いますので、どのような形ができるのか、今後の調査・研究ということで検討させてください。</p>
<p>恵) 長田氏</p>	<p>南茅部から戸井までの各地域には、お年寄り同士や住人同士などによる部会があります。青年部などもあるわけですから、漁組などにもお願いをして、部会的として盛り上げて成功できるように、私も応援しておりますので、そのような考えで皆さんと取り組んでいけたらいいと思っています。</p>
<p>西川支所長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>それでは、今後の取り組み案について、いろいろとご意見いただき、たくさん課題はありますが、基本、このような形で調査・研究を進めていくにあたって、こういうアイデアは、どうだろうかというものがありましたら、各支所の方にお伝えいただいて、検討に入っていくような形に繋がっていけば良いかと思えます。よろしいでございますか。</p> <p>(はいの声)</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>それでは、本日の議題は以上でございますが、全般を通じまして、何か確認がしたいということがありましたらお願いします。</p> <p>せつかくですから、戸井漁業協同組合 川原専務理事様、何かございますか。</p>
<p>戸) 川原氏</p>	<p>特にありません。</p>
<p>西川支所長</p>	<p>はい、ありがとうございます。</p> <p>戸井の東商工会 関谷筆頭理事さん、ございますでしょうか。</p> <p>全体通して、感想でも何でも結構です。</p>

戸) 関谷氏	<p>今回、初めて参加させてもらいましたが、これ以上のこととなるとお金もかかるし、人手も必要となるので、まずは足元から固めて行くのが良いのではないかと思います。</p> <p>商工会も地元産業が活発に水揚げができないと、落ち込んでいくと思っています。</p> <p>できれば、海岸に寄っているごみを1年に1回か2回でもいいので、皆で拾って、処理できないかと常日頃思っています。</p>
西川支所長	<p>ありがとうございます。</p> <p>海岸の漂着ごみについて、各支所管内の漁港内に入ってきているものは、漁組さんが積極的にやっています。</p> <p>ただ、やってもまた溜まってくるという状況があるので、やっぱり海は世界全部繋がっていると思いますので、もっと大きな啓発などからやっていくことも大事ですし、地域でできることを並行してやっていくということが大事かと思っています。</p> <p>せっかくですから、まだご発言されていない方、榎法華の民生児童委員協議会 新谷会長様、何かご意見ありましたらお願いします。</p>
榎) 新谷氏	<p>今回で2回目の参加です。観光振興ということですが、東部地区の水産業自体が衰退して、高齢化も進んでいる中で、地域全体の暮らしの基礎部分が弱くなっていけば、観光振興もあつたものではないだろうとなります。</p> <p>観光と水産業の両方を活性化ができるような方法がいいのではないかと考えております。</p>
西川支所長	<p>ありがとうございます。</p> <p>今回のテーマであります観光振興ですが、生活の基盤がきっちりしていない中では、なかなか手が回らないという思いにも繋がっていくのかなというご意見として受け止めさせていただきます。</p> <p>ありがとうございました。</p>
榎) 川口氏	<p>最近の世界遺産登録は、中尊寺、それから富岡製糸場ですが、観光客の入込は、たぶん2、3年で終わるだろうと思っています。</p> <p>今後、世界遺産登録がされるが、観光客が2、3年で終わるのでなく、それを続けるために、東部地区をどんな地域にしていくかという動きをきちんとしてほしいと思います。</p> <p>前にも言いましたがけれども、恵山にインフォメーションセンターがありますので、そこできちんと説明できる人材を置くことで、この2、3年ではっきり縄文の効果を反映できるようなラインを作っていくことは必要だと思います。</p> <p>パンフレットで終わって、一息つくと前に進まないのが、今まで50何年の地域の流れだと僕は思っています。</p> <p>例えば、木古内の道の駅には、インフォメーションセンターがありますが、そこに行って、知内の牡蠣小屋の情報を聞こうと思ったら、ちょうどその日は休みでしたが、「何曜日と何曜日はやっていますよ。」ときちんと説明してくれるインフォメーションセンターになっていました。</p> <p>そういう形をきちんと作ってほしいです。そうすると、どんどん広</p>

	<p>がっていくと思います。この2, 3年できちんと形ができるような状況にしてほしいです。</p>
西川支所長	<p>川口会長の熱い思い、ありがとうございます。</p> <p>ただ、行政だけでは、なかなか難しい部分があります。やはり皆様のお力添えが無ければ難しいので、知恵や力等も貸していただきたいと思います。</p> <p>最後に戸井地区町連の会長の方からコメントをいただきたいと思いますが、松田会長をお願いします。</p>
戸) 松田氏	<p>私も川口会長の意見に同調する部分がありますが、支所長も言ったとおり、行政だけに頼るインフォメーションや、行政だけに総合的な方向性を求めるのはどうかと思います。</p>
榎) 川口氏	<p>行政に求めているのではなく、自分は何ができるかということのを皆が考えて参加すればいいという方向性をつくることを行政主導でやってほしいということです。</p>
戸) 松田氏	<p>大変面倒な問題ですので、それは今後、検討していくこととして、現時点で私からは特段ございません。「函館イーストエリアガイド」の印刷を進めてください。</p>
西川支所長	<p>ありがとうございます。</p> <p>それでは、以上で議題全て終了いたしました。どうもありがとうございます。</p>
6 その他	
西川支所長	<p>最後に、その他でございますが、本日企画部からお知らせがございまして、担当の課長が来ております。</p> <p>よろしくをお願いします。</p>
高橋課長	<p>《「函館市過疎地域持続的発展市町村計画（案）」に対するパブリックコメント（意見公募）手続きの実施について説明》</p>
西川支所長	<p>ありがとうございます。</p> <p>市町村計画のパブリックコメントについて説明がありましたが、これにつきまして何かご意見やご質問等ありましたら、ご発言をお願いします。</p>
恵) 長田氏	<p>漁業者としては、大変喜ばしい説明があったのですが、ウニについても、昆布についても水温の問題なのです。</p> <p>うちの方では、3ヒロ（約4.5m）以内でなければウニは生存していきません。生存しても、磯枯れしているというが、ウニの食べ物が無い状況なので、身入りが悪く、磯枯れしていない3ヒロ以内のウニは身がいっぱい入っている。</p> <p>2, 3年前に種苗放流したが、5メートル以上のウニは全然だめで、3年くらいは、組合長や専務がお願いして、昆布の母藻繁殖やウニの浅海移植などいろいろやってみたけれども、うまくいかない状況です。</p> <p>むしろ漁港内にウニの養殖場所を設けるのがいいのではないかとも思う</p>

	<p>が、水温などを監視しながら、餌となる母藻を入れたとしても、全部水温でだめになってしまう。</p> <p>今年の昆布は、取れるのか、取れないのかも分からない状況で全然操業できない。</p> <p>私は、今79才ですけど、今までこういう危機感は無かった。初めての経験です。</p> <p>対応策について、これから、組合の理事さんなどと協議していきますので、もしお願いすることがあったら、よろしくお願いします。</p>
高橋課長	<p>海の環境変化で様々な問題が起きているのはお聞きしておりますし、担当部局の農林水産部の方でもいろいろ研究し、北大の水産学部の先生方と原因究明に取り組んでいることは存じております。</p> <p>何かアイデアなどがありましたら、まず、支所もありますので、いろんな情報をいただきながら、一緒に取り組みを進めてまいりたいと思います。</p> <p>今後ともよろしくお願いいたします。</p>
西川支所長	<p>はい。また時間も押してきておりますけれども、過疎地域持続的発展市町村計画について、せつかく課長が来ておりますので、質問とご意見等ございませんか。</p> <p>無いようでございますので、それでは、本日の予定は一応全て終了でございます。</p>
榎) 川口氏	<p>最後に一ついいですか。</p> <p>この東部地域まちづくり懇談会は、次もあるのでしょうか。これで終わりですか。</p>
西川支所長	<p>次回の懇談会は、来年の2月くらいに開催をしようかと考えております。</p> <p>それまでの間に何かもう少し動きができないか、こういうことを検討できないかというお話があれば、各支所の方にお話しをしていただき、具体的な動きに繋げていければ良いかと思っています。</p>
榎) 川口氏	<p>縄文の世界遺産登録後の新しいまちづくりを考えるということなので、次回は、是非、4支所管内の議員を呼んで、一緒に地域のまちづくりの話をしたと思うのですが、いかがでしょうか。</p>
西川支所長	<p>議員は、それぞれ住民等の意見を聞いて町づくりについて本会議や、所属している委員会で意見の展開を行っておりますので、4支所管内の議員を集めてとなると、どういう形になるのかイメージができませんので、4支所長で協議しながら検討していきたい。</p> <p>それでは、今回は、昨年度と同様、2月くらいに開催しようかと考えておりますが、それまでの間、いろいろな相談は、各支所の支所長室の方に入っ行っていただいて、お話いただくことも、とてもいいことかなと思いますので、各支所長室の方を直接訪問していただければと思います。</p> <p>それではこれで終了といたします。ありがとうございました。</p>
7 閉 会	
井上課長	以上で、令和3年度第1回東部地域まちづくり懇談会を終了いたします。
閉 会 (15時45分)	